



## 2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年1月30日

上場会社名 日本精線株式会社  
コード番号 5659 URL <https://www.n-seisen.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 利光 一浩  
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 長澤 修一  
四半期報告書提出予定日 2024年2月9日  
配当支払開始予定日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
TEL 06-6222-5432

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	33,143	10.9	2,312	31.3	2,462	29.4	1,712	29.5
2023年3月期第3四半期	37,215	13.1	3,366	9.3	3,488	8.2	2,429	9.0

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 2,147百万円 (23.8%) 2023年3月期第3四半期 2,817百万円 (3.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	279.29	
2023年3月期第3四半期	396.07	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	52,316	38,450	72.3
2023年3月期	54,054	37,605	68.5

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 37,848百万円 2023年3月期 37,046百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		105.00		105.00	210.00
2024年3月期		105.00			
2024年3月期(予想)				105.00	210.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,700	10.9	3,000	28.2	3,100	28.2	2,170	29.7	353.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	6,253,038 株	2023年3月期	6,253,038 株
期末自己株式数	2024年3月期3Q	119,687 株	2023年3月期	120,250 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	6,133,180 株	2023年3月期3Q	6,132,958 株

当社は、「株式給付信託(BBT)」を導入しており、当該信託が保有する当社株式を期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式に含めています。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

世界経済は、ロシアによるウクライナ侵攻に加えてイスラエルとハマスの対立も激化し、世界各地での地政学リスクの増大のほか、米国におけるインフレ対策の金融引き締め長期化や中国での不動産市場の調整など、景気の下振れリスクが増えてきました。日本経済は年後半に自動車生産の挽回が本格化し景気を牽引しましたが、海外経済の減速や半導体市況の回復の遅れのほか、円安、物価高、人手不足といった構造的な課題も顕在化してきており、景況感の先行きに対する不透明感が大きくなってきています。

このような事業環境の中で、当社及び連結子会社（以下「当社グループ」という。）は2024年3月期を最終年度とする『中期経営計画（NSR23）』において、「日本精線リニューアル（NSR）継続推進と高機能・独自製品でサステナビリティに貢献」を中期スローガンとして掲げ、高機能・独自製品の販売に注力して企業価値向上に努めております。

結果として当第3四半期連結累計期間の売上高は、331億43百万円（前年同期比10.9%減）となりました。損益については、太陽光発電パネルなどの製造プロセスで使用される極細線に対する需要の強さは継続したものの、流通在庫の調整を受けたステンレス鋼線の販売量減少による操業度増加や、これまで収益の牽引役だった半導体関連業界向け超精密ガスフィルター（NASclean®）の受注減少によって、減益を余儀なくされました。この結果、営業利益23億12百万円（同31.3%減）、経常利益24億62百万円（同29.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益17億12百万円（同29.5%減）となりました。

製品別の売上状況は次のとおりです。

#### [ステンレス鋼線]

ステンレス鋼線においては、2022年度第2四半期より自動車用途や建材用途の荷動き鈍化が鮮明となり、2023年度第3四半期（10～12月）も調整が長期化したため月当たり2,677トン（前年同期比11.4%減）となりました。一方、太陽光発電パネルの製造プロセスで使用されるスクリーン印刷向け極細線は、お客さまの細径化ニーズに応える高付加価値製品として好調な受注を確保しました。

なお、LMEニッケル価格については、2020年度第1四半期から右肩上がりの傾向となっていました。ウクライナ情勢の影響もあり2022年度の平均価格がポンド当たり11.63ドル（前期比平均に比してポンド当たり2.28ドル上昇）と急激に上昇しました。2023年度は下落に転じ第3四半期においても2023年10～12月の平均価格でポンド当たり7.80ドル（2023年7～9月平均に比してポンド当たり1.43ドル下落）となりました。

結果として、当第3四半期連結累計期間におけるステンレス鋼線全体の月平均販売数量は2,617トン（前年同期比20.3%減）と大幅に減少したものの、値上げによる販売単価上昇や極細線の販売増によって売上高283億91百万円（同7.2%減）の減少幅を低減しました。

海外現地法人であるTHAI SEISEN CO., LTD. 及び大同不銹鋼（大連）有限公司についても、ステンレス鋼線の販売数量が低迷し、減収となりました。

#### [金属繊維（ナスロン®）]

金属繊維においては、DRAMの価格低迷により半導体メーカーの設備投資の延期や縮小が影響し、半導体関連業界向け超精密ガスフィルター（NASclean®）に対する実需低迷が第3四半期も続きました。半導体製造装置メーカーにおける中国の成熟世代向け装置の需要が拡大しているものの、装置メーカー各社における当社製品の在庫調整局面が継続しました。

ナスロン®フィルターについても、第3四半期も国内外のポリエステルフィルム用途の販売不振が継続したことに加え、高機能フィルムや中国炭素繊維向けの大型案件が先送りされたため、減収を余儀なくされました。また、2022年度に化合繊維用途や高機能フィルム用途のフィルターの販売を積み上げた耐素龍精密濾機（常熟）有限公司においても、第1四半期（12月決算のため1～3月）にゼロコロナ政策転換による感染症急拡大によって経済活動に大きな制約を受け、回復傾向にあるものの化合繊維用途の販売低迷が継続しました。

結果として、当第3四半期連結累計期間における金属繊維部門の売上高は47億52百万円（前年同期比28.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は523億16百万円となり、前連結会計年度末に比べ17億37百万円減少しました。流動資産は現金及び預金や受取手形及び売掛金の減少などにより、前連結会計年度末に比べ17億30百万円減少しました。固定資産は7百万円減少しました。

負債は138億66百万円となり、前連結会計年度末に比べ25億82百万円減少しました。流動負債は支払手形及び買掛金の減少などにより、前連結会計年度末に比べ26億7百万円減少しました。固定負債は退職給付に係る負債が増えたことなどにより25百万円増加しました。

純資産は384億50百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億44百万円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期通期の業績予想につきましては、概ね2023年10月27日公表の予想どおりに推移しており、業績予想に変更はございません。

尚、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,657	13,979
受取手形及び売掛金	8,810	7,850
電子記録債権	1,340	1,624
商品及び製品	2,871	2,786
仕掛品	5,080	4,979
原材料及び貯蔵品	3,280	3,104
その他	291	275
流動資産合計	36,332	34,602
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,380	5,373
機械装置及び運搬具（純額）	6,623	6,972
土地	1,646	1,656
リース資産（純額）	16	24
建設仮勘定	1,342	1,095
その他（純額）	590	550
有形固定資産合計	15,601	15,672
無形固定資産	202	188
投資その他の資産	1,918	1,854
固定資産合計	17,721	17,714
資産合計	54,054	52,316
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,660	6,335
短期借入金	315	259
未払法人税等	540	106
賞与引当金	703	390
役員賞与引当金	33	-
その他	1,759	1,311
流動負債合計	11,012	8,404
固定負債		
長期借入金	338	257
役員株式給付引当金	33	63
退職給付に係る負債	4,739	4,817
環境対策引当金	172	171
その他	153	152
固定負債合計	5,436	5,462
負債合計	16,448	13,866

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	5,558	5,558
利益剰余金	26,201	26,615
自己株式	△400	△398
株主資本合計	36,359	36,775
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17	25
繰延ヘッジ損益	△0	1
為替換算調整勘定	765	1,114
退職給付に係る調整累計額	△95	△68
その他の包括利益累計額合計	686	1,073
非支配株主持分	559	602
純資産合計	37,605	38,450
負債純資産合計	54,054	52,316

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	37,215	33,143
売上原価	31,261	28,233
売上総利益	5,953	4,910
販売費及び一般管理費	2,587	2,597
営業利益	3,366	2,312
営業外収益		
受取利息	9	16
受取配当金	1	2
仕入割引	17	16
受取補償金	18	14
受取賃貸料	18	18
為替差益	72	66
雇用調整助成金	-	33
その他	5	6
営業外収益合計	144	174
営業外費用		
支払利息	2	3
支払補償費	8	12
固定資産除却損	7	3
その他	4	5
営業外費用合計	22	24
経常利益	3,488	2,462
特別利益		
固定資産売却益	0	1
投資有価証券清算益	2	-
特別利益合計	2	1
税金等調整前四半期純利益	3,491	2,464
法人税、住民税及び事業税	902	617
法人税等調整額	119	122
法人税等合計	1,022	740
四半期純利益	2,468	1,724
非支配株主に帰属する四半期純利益	39	11
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,429	1,712



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	2,468	1,724
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1	8
繰延ヘッジ損益	1	1
為替換算調整勘定	319	386
退職給付に係る調整額	29	27
その他の包括利益合計	348	423
四半期包括利益	2,817	2,147
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,734	2,099
非支配株主に係る四半期包括利益	82	48

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。